2026 年 11 月 13 日

株式会社 Atom

京都機械工具株式会社の企業価値向上に向けた事業提携と新株予約権の引受けについて

株式会社 Atom（以下「当社」）は、京都機械工具株式会社（東証スタンダード・証券コード 5966、以下「KTC」）が第三者割当の方法により発行する第 1 回新株予約権の全部を引き受けること、並びに、KTC との間で同社の企業価値向上を目的とした事業提携契約を締結することについて、本日、KTC と合意いたしましたのでお知らせいたします。

KTC は 1950 年設立の総合工具メーカーです。本年 5 月に新 5 ヵ年計画「Restart KTC vision 2030」を公表し、強固な経営基盤の再構築の上に本質的な成長を重ねることで、2030 年度に売上高 100 億円、営業利益率 10%以上、ROE8%以上、PBR1 倍以上の達成を目指しています。KTC は同計画の実現に向けて、外部からの長期的・多面的な視点の取り込み、計画の実現スピードの向上、人材の獲得・育成を目的として外部パートナーの活用を検討してこられました。上場を維持したままのマイノリティ投資と、自己資金による当事者としてのハンズオン支援を組み合わせる事業モデルが、KTC の期待する要件に合致するものとして選定いただきました。

本事業提携において当社は、KTC の新 5 ヵ年計画に基づき、収益力の強化（製品の選択と集中、重点戦略の加速）、事業ポートフォリオの改革、バランスシートの最適化（運転資本効率の改善、保有資産の成長投資へのリバランス）、株主・投資家との対話の強化、人的資本投資に関する助言、提案および候補先の紹介を行い、KTC の経営陣と協働して施策の実行を支援してまいります。当社は、本事業提携に関して KTC から業務の対価としての報酬を受領せず、当社の成果は、KTC の企業価値向上を通じた新株予約権の価値によってのみ実現されます。

本新株予約権は固定行使価額型であり、行使価額の修正条項はありません。また、当社は、2028 年 5 月 31 日までの期間は本新株予約権を行使せず、同日以降も、KTC の株価が行使価額の 116%以上である場合に限り行使することを KTC との間で合意しています。これは、KTC の既存株主の皆様への希薄化の影響に配慮し、企業価値の向上が株価に反映された後にのみ行使が行われる設計としたものです。本新株予約権の行使による調達予定額は約 10 億円で、KTC において新 5 ヵ年計画に基づく重点戦略に関する設備投資および基幹システムの更新に充当される予定です。

当社は、KTC の株主・投資家の皆様と同じ目線に立ち、KTC の中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

本件の詳細は、KTC が本日公表した「第三者割当により発行される第 1 回新株予約権（固定行使価額型）の募集に関するお知らせ」および「事業提携に関するお知らせ」をご参照ください。

＜京都機械工具株式会社の概要＞

会社名：京都機械工具株式会社（KTC）

代表者：代表取締役社長　伊吹　和彦

本社：京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

上場市場：東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 5966）

事業内容：自動車整備用工具をはじめとする作業工具及びこれらに関連する機器の製造・販売等

※本お知らせは、当社の投資および事業提携に関する事実をお知らせするものであり、KTC の株式その他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Atom　代表取締役　鈴木　雄斗

東京都港区虎ノ門一丁目 1 番 21 号　新虎ノ門実業会館 5F　／　https://atom-company.jp/